

(公財) 広島県老人クラブ連合会
平成 30 年度事業報告書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

概 況	1
I 高齢者の健康づくり・介護予防活動に資する事業	2
1 理事長杯グラウンド・ゴルフ大会の開催	
2 広島県老人クラブゲートボール大会の開催	
3 全国健康福祉祭（ねんりんピック）への参加支援	
4 全老連「健康づくり中央セミナー」への派遣	
5 みずほ教育福祉財団助成事業の実施	
II 高齢者の社会活動を推進する事業	4
1 地域指導者講習会の開催	
2 在宅福祉を支える友愛活動の展開	
3 地域奉仕活動推進事業の推進	
4 災害救援拠金の募集及び配分	
III 地域社会と連携・協働活動を推進する事業	7
1 広島県老人クラブ大会の開催	
2 広報誌「ひろしま県老連」の発行	
3 関係機関・関係団体との連携・協働事業の推進	
IV 生活を豊かにする楽しい活動と地域を豊かにする社会活動を推進し、地域と福祉を支える老人クラブをめざす事業	12
1 広島県、県社協、県老連三者連絡協議会の開催	
2 市町老連との協働活動の推進	
3 県老連各種委員会及び研修会の開催	
4 全老連が主催する会議・研修会への参加	
5 全老連会長表彰の受賞	
6 全老連「活動賞」の受賞	
7 全老連「100 万人会員増強運動特別賞」の受賞	
8 広島県知事賞の受賞	
9 ニッセイ財団生き生きシニア活動顕彰の受賞	
10 ホームページ活用による啓発広報	
V 老人クラブの組織強化を図る事業	16
1 老人クラブ普及事業	
2 100 万人会員増強運動特別報奨金事業の実施	
3 会員の安全対策と連帯意識の高揚を図る事業	
4 表彰事業	
5 要望活動	
6 県老連専用スマートフォンの整備	
VI 法人の管理運営	18
1 役員会等の開催	
2 老人クラブ活動推進員の設置	
3 資料作成配布	

公益財団法人広島県老人クラブ連合会事業報告

平成30年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

概 況

1 平成30年度の事業運営においては、厳しい財政状況を踏まえて、健康づくり・介護予防事業の一部に休止を余儀なくされたが、高齢者相互支援推進事業などの地域支えあい事業、社会活動指導者や老人クラブ役員等の育成事業、関係機関・団体等との連携協働事業、広報・普及啓発活動事業等などについては、前年度同様に取り組んだ。

一方で、県内各地に甚大な被害をもたらした、老人クラブ関係者も多くが被災した「平成30年7月豪雨災害」により、7月に鳥取県老連主催で計画されていた「平成30年度中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会」も10月に延期されたほか、7月以降の県老連女性リーダー研修会や市町老連の各種事業に延期や中止の影響が生じた。

2 新たな取り組みや変更した事業等については次のとおり実施した。

- (1) 市町老連事務局機能の強化を図るため、全市町においてインターネット及び電子メールの利用が可能となるよう希望する市町老連へ県老連が一括契約したスマートフォンを貸与し、ICT環境の整備を図った。
- (2) 「平成30年7月豪雨災害」により、県内の老人クラブ関係者にも大きな被害が生じたことから、県内はもとより、全老連を通じて全国の都道府県・指定都市老連へ「平成30年7月豪雨災害救援拠金」を呼びかけ、県内外から寄せられた拠金を、被災市町老連を通じて被災会員等へ配分した。
- (3) 10月に鳥取県米子市で開催された「平成30年度中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会」及び12月に沖縄県宜野湾市で開催された「第47回全国老人クラブ大会」に、当県老人クラブ関係者が多数参加するとともに、新地域支援事業に係る県内呉市の先進事例を発表した。
- (4) 懸案であった県老連としての老人クラブの紹介と会員勧誘のためのチラシを作製した。
- (5) 県老連の厳しい財政状況等を踏まえ、老人クラブリーダーブロック別研修会及びブロック別グラウンド・ゴルフ大会については休止した。

3 平成26年度から取り組んでいる「老人クラブ100万人会員増強運動」については、平成30年3月末の単位クラブ数は1,891クラブ、会員数は95,545人であり、前年度に比べクラブ数で61クラブ、会員数で5,330人の減少となった。

依然として、クラブ数、会員数の減少傾向に歯止めがかからない状況が続いており、新規会員の加入促進、単位クラブの解散防止が喫緊の課題となっている。

《公益目的事業》

I 高齢者の健康づくり・介護予防活動に資する事業(公1)

健康寿命の延伸と介護予防活動の推進に向けて、高齢者スポーツの普及・振興を図るため、老人クラブ会員等高齢者が参加できるスポーツ大会を開催するとともに、健康づくりリーダーの養成を図った。

なお、昨年度まで、県内 5 ブロック内で、市町老連持ち回りで開催していた「老人クラブリーダーブロック別研修会」及び「ブロック別グラウンド・ゴルフ大会」については、今年度は休止とした。

1 理事長杯グラウンド・ゴルフ大会の開催

ふれあいと活力ある明るい長寿社会づくりを推進するため、「第3回理事長杯グラウンド・ゴルフ大会」を開催し、各市町の代表 22 チーム、190 人が参加した。今回、県老連創立 55 周年記念大会とし、参加選手中の最高齢者を表彰した。

期 日	平成 30 年 10 月 24 日 (水)	9:00~13:00
会 場	三原市北方グラウンド・ゴルフ場 (三原市本郷町大字上北方)	
参加人員	20 市町 22 チーム及び役員等 190 人 ※7 月豪雨災害被災の 2 町欠席	
成 績	優 勝	津之郷 (福山市)
	準優勝	下野クラブ (竹原市)
	第 3 位	庄原敷信 (庄原市)
	ベストスコア賞	高盛由喜子 (竹原市)
	最高長寿選手賞	岩尾一三(大竹市)、藤田俊子(安芸郡海田町)

2 広島県老人クラブゲートボール大会の開催

ふれあいと活力ある明るい長寿社会づくりを推進するため、「第 37 回広島県老人クラブゲートボール大会」を開催し、各市町から選抜された 22 チーム、190 人が参加した。今回、県老連創立 55 周年記念大会とし、参加選手中の最高齢者を表彰した。

期 日	平成 30 年 11 月 1 日 (木)	9:00~15:30
会 場	広島市比治山下公園 (広島市南区比治山本町 8-1)	
参加人員	16 市町 22 チーム及び役員等 190 人	
成 績	優 勝	大野クラブ (廿日市市)
	準優勝	九十九クラブ (竹原市)
	第 3 位	オレンジ (東広島市)
	第 4 位	因島水軍 (尾道市)
	最高長寿選手賞	栗栖 定(山県郡安芸太田町)、栗栖キクエ(同)

3 全国健康福祉祭(ねんりんピック)への参加支援

平成 29 年度に開催した第 36 回広島県老人クラブゲートボール大会の優勝・準優勝 2 チームが、「第 31 回全国健康福祉祭富山大会(ゲートボール交流大会)」に参加し、その経費について支援した。

参加チーム KURE(呉市)、小坂白寿会(三原市)

4 全老連「健康づくり中央セミナー」への派遣

平成31年2月20日～2月22日、ロフォス湘南(神奈川県)で開催された「第16期健康づくり中央セミナー」に2名(三原市、三次市)を派遣した。

5 みずほ教育福祉財団助成事業の実施

全老連を通じて募集があったみずほ教育福祉財団の「平成30年度老人クラブ介護予防・健康づくり支援事業」に三次市老連のニュースポーツの導入を核としたリーダー養成とニュースポーツの普及に向けた取組みが採択され、財団から助成金(20万円)を受けて事業が実施された。

II 高齢者の社会活動を推進する事業(公2)

心豊かな地域社会づくりに向けて、老人クラブ等高齢者の社会活動指導者に対する講習会を通じて、高齢者の相互支援や社会奉仕等の社会活動の推進を図った。

1 地域指導者講習会の開催

老人クラブ役員等高齢者の社会活動指導者に対して、地域の実情に応じた研修テーマ等により、市町老連との共催により、15市・町 21会場において講習会を開催し、講習会資料(テキスト)を作成配布するとともに、経費の一部を負担した。参加者総数は2,077人となった。

2 在宅福祉を支える友愛活動の展開

(1) 高齢者相互支援推進事業

呉市、竹原市、福山市、山県郡安芸太田町、世羅郡世羅町の5市町老連をモデル市町とし、老人クラブ会員が地域の一人暮らし高齢者や寝たきり高齢者、高齢者世帯等の家庭を訪問し、話し相手を基本に日常生活支援や家事援助等の活動を実践した。

また、高齢者相互支援推進シルバーリーダー研修会を開催し、地域の高齢者に対し、高齢者相互支援についての啓発普及を行なった。

高齢者相互支援推進シルバーリーダー研修会の参加者は延べ200人、モデル市町老連における相互支援延べ訪問回数は5,305回となった。

ア 高齢者相互支援推進会議

区分	第1回	第2回
開催月日	平成30年6月7日	平成31年3月26日
開催場所	県社会福祉会館	県社会福祉会館
出席者	8人	7人
内容	平成30年度高齢者相互支援事業について	平成30年度高齢者相互支援事業の実施結果について

イ シルバーリーダー研修会の開催

老連名	開催月日	開催場所	参加人員
呉市	H30.8.28	仁方まちづくりセンター	70
竹原市	H30.9.5	大広苑	30
福山市	H30.8.6	福山市老人会館	60
山県郡安芸太田町	H30.11.28	筒賀福祉センター	16
世羅郡世羅町	H30.11.21	甲山保健福祉センター	24
計			200

ウ 高齢者相互支援活動の実施状況

モデル市町老連	呉市	竹原市	福山市	山県郡 安芸太田 町	世羅郡 世羅町	計	
参加クラブ数	9	5	40	14	42	110	
活動チーム数	9	18	41	26	16	110	
実施した会員数(人)	33	30	360	119	54	596	
訪問世帯数	61	106	388	119	270	944	
延訪問日数(日)	558	292	512	349	192	1,903	
延訪問者数(訪問先)(人)	695	325	1,598	635	576	3,829	
活動 内容 (回)	外出援助	21	29	31	41	0	122
	家事援助	121	3	58	27	24	233
	日常生活援助	48	103	55	32	0	238
	話し相手	138	415	685	406	180	1,824
	安否確認	23	33	102	31	0	189
	その他	670	71	686	312	960	2,699
	延活動回数	1,021	654	1,617	849	1,164	5,305

エ 「在宅福祉を支える友愛活動セミナー」への参加

平成 31 年 1 月 31 日～2 月 1 日に全国社会福祉協議会(東京都)で開催される「第 23 回在宅福祉を支える友愛活動セミナー」へ広島県老連から 4 名(府中市、大竹市、府中町、世羅町)を派遣した。

(2) 友愛活動の推進

平成 29 年度の高齢者相互支援推進事業におけるモデル市町老連の取組み等を「平成 29 年度高齢者相互支援推進事業事例集」として取りまとめ、各市町老連へ配布することなどにより、老人クラブ会員による「在宅福祉を支える友愛活動～暮らしを支える 笑顔の訪問～」の推進を呼びかけた。

・集いの場をつくろう！・暮らしの支え合いを広げよう！・役立つ情報を届けよう！

3 地域奉仕活動推進事業の推進

老人クラブではこれまで、高齢者自らが健康保持・増進をすすめ、高齢社会・地域社会を支える担い手として、自主的・組織的に、健康・友愛・奉仕の全国三大運動等の推進に取り組んでおり、平成 30 年度も継続して推進した。

(1) 健康づくり活動

～のぼそう！健康寿命 担おう！地域づくりを～(再掲)

(2) 在宅福祉を支える友愛活動

～暮らしを支える 笑顔の訪問～(再掲)

(3) 全国一斉「社会奉仕の日」の推進 ～きれいな地球を子どもたちへ～

老人週間を契機に設定された全国一斉「社会奉仕の日」(9月20日)に、各地域の老人クラブにおいて、公共施設、道路、公園、河川、海浜、神社、仏閣の除草や清掃、資源回収、花壇の管理、山林歩道の整備など様々な奉仕活動が行われた。

14市町老連から活動状況について報告があり、参加者総数は912クラブ、23,264人となった。

4 災害救援拠金の募集及び配分

県内各地に甚大な被害をもたらした「平成30年7月豪雨災害」に関し、県老連として救援拠金の募集を決定し、県内各市町老連へ協力を依頼するとともに、県老連ホームページや全老連を通じて、全国の老人クラブへも協力を依頼した。

県内19市町老連(1地区老連を含む。)、県外から54都道府県・指定都市老連、市町老連、単老、ブラジル日系熟年クラブ協会から寄せられた拠金40,975,702円(平成31年1月31日現在)を、平成31年2月に、老人クラブ会員の被災状況に応じて、17市町老連へ配分した。

Ⅲ 地域社会と連携・協働活動を推進する事業(公3)

高齢者の社会参加を促進するため広報活動等を通じ、また関係機関・地域社会と連携して協働活動を推進した。

1 広島県老人クラブ大会の開催

老人クラブ活動に対する意識の高揚と、関係者の多年にわたる功績を称えとともに、老人クラブのさらなる発展と高齢者福祉の向上を期するため、県老連創立 55 周年記念大会として次のとおり開催した。

(1) 開催日等

- ・期 日 平成 30 年 10 月 10 日(水) 13 時 30 分 ～15 時 30 分
- ・会 場 広島県医師会館 (広島市東区二葉の里)
- ・参加人員 約 220 人

(2) 表彰区分及び表彰者数

・特別功労賞	1 名
・功労賞(市町老人クラブ連合会長の部)	1 名
・功労賞(地区老人クラブ連合会長の部)	6 名
・功労賞(単位老人クラブ会長の部)	41 名
・特別賞	16 名
・感謝状	1 名
・全国老人クラブ連合会活動賞表彰(伝達表彰)	1 団体
・全国老人クラブ連合会特別賞(伝達表彰)	1 団体

(4) 講演 「のぼそう！健康寿命」

講師 広島大学名誉教授 原田 康夫 様

(5) 大会宣言

大会宣言

県内に甚大な被害をもたらした「平成30年7月豪雨」以降も、全国各地で台風や地震による災害が相次いでいます。

科学が進歩した現代でもなお、「想定外」と言われる大規模災害は、多くの尊い命を奪うだけでなく、社会インフラを破壊し、広範な地域で長期間、人々の平穏な暮らしを大きく損ないます。

地球規模の気候変動や地震活動期に入った我が国において、こうした災害はこれからも、いつ、どこで起きても不思議ではありません。

また、今年に入って県内で急増している交通事故死亡者や全国的に増加している特殊詐欺被害者の大半が高齢者となっています。

県内7割の市町において、3人に1人以上が高齢者という少子高齢・人口減少社会で、全ての住民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくために、私たち高

齢者が中心となって、その地域を支え、災害に強く、事故や犯罪のない地域づくりに貢献していかなければなりません。

半世紀を超えて、老人福祉の向上や住みよい地域づくりに貢献してきた老人クラブは、戦後の復興期、高度成長期を通じて、十二分にその役割を果たしてきましたが、平成9年以降、クラブ数、会員数の減少が続いています。

広島県老連結成55周年となる今日、「老後の幸せは自らの手で開こう」と営々とクラブの発展に努力された先人の熱意を継承し、「地域に根差し、地域と共に、暮らしを守る」老人クラブとして、さらなる活性化と発展を目指して、決意を新たに活動していきます。

ここに集う広島県の老人クラブ代表は、「のばそう！健康寿命 担おう！地域づくりを」をメインテーマに掲げて、共に手を携え、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

- 一、高齢者の暮らしを支える「新地域支援事業」への参画
- 一、健康寿命をのばす「健康づくり活動」の推進
- 一、仲間どうしで支え合う「友愛活動」の充実
- 一、高齢消費者被害防止に向けた活動の実践
- 一、クラブの解散防止と会員増強に向けた取り組みの推進

平成 30 年11月 21 日

平成 30 年度広島県老人クラブ大会宣言

2 広報誌「ひろしま県老連」の発行

老人クラブ活動や高齢者福祉の増進についての広報啓発活動を行うため、より読みやすく、より親しみやすくするため、第 91 号から広報誌「ひろしま県老連」の紙面を一新した。

発行後より早く老人クラブ会員全員に配布するとともに、市町老人クラブ連合会・全国老人クラブ連合会、県市町等の関係機関、希望のあった一般高齢者に配布した。

発行時期 第 95 号(平成 30 年 9 月)及び第 96 号(31 年 3 月)

発行部数 10 万部

3 関係機関・関係団体との連携・協働事業の推進

全ての市町にネットワークを有する県内唯一の高齢者組織として、県関係局及び関係団体が実施する福祉、保健、健康、医療、交通安全、社会参加など高齢者に関わる事業と連携・協働を図った。

(1) プラチナ世代支援協議会事業の推進

広島県が主催する「プラチナ世代支援協議会」に構成団体として参画し、協議会事業の実施に協力した。

(2) 高齢者の交通安全対策の推進

広島県交通対策協議会の構成団体として、高齢者の交通事故防止対策を重点的に推進するため、交通安全の啓発広報活動に取り組んだ。

・春の全国交通安全運動	実施期間 : 4月6日～4月15日
・自転車マナーアップ強化月間	実施期間 : 5月1日～5月31日
・広島県夏の交通安全運動	実施期間 : 7月11日～7月20日
・秋の全国交通安全運動	実施期間 : 9月21日～9月30日
・年末交通事故防止県民総ぐるみ運動	実施期間 : 12月1日～12月10日

○広島県交通対策協議会会議等の開催状況

月日	会議名	場所
30.4.6	春の全国交通安全運動開始式	県庁正面
5.8	自転車安全利用街頭キャンペーン	イオンモール広島府中
6.1	広島県交通対策協議会交通安全対策部会幹事会	県庁
6.14	広島県交通安全協会理事会・評議員会	メルパルク広島
9.6	平成30年広島県交通安全県民大会	アステールプラザ
9.21	秋の全国交通安全運動開始式	県庁
11.23	第15回高齢者交通安全自転車大会	広島市中小企業会館
11.30	年末交通事故防止県民総ぐるみ運動開始式	県庁正面
31.1.23	広島県交通対策協議会交通安全対策部会幹事会	県庁
1.25	高齢者交通事故防止連絡会議	広島市中区福祉センター
3.6	広島県自転車安全教育推進委員会	運転免許センター

(3) 高齢者や子どもの犯罪被害防止への取組み

広島県・広島県警察本部が主唱する「減らそう犯罪広島県民総ぐるみ運動」の取組みに参画し、推進会議への参加や啓発資料の市町老連への提供、ホームページへの掲載等に取り組んだ。

また、川口鈴江副理事長が「広島県『減らそう犯罪』推進会議」委員に就任して、高齢者の犯罪被害防止について意見を述べている。

(4) 高齢者に関わる制度・政策への対応

公益財団法人として、また高齢者代表としての立場から、県関係局及び関係団体が主宰する福祉、保健、健康、医療、交通安全、社会参画に係る審議会、協議会等に参画など、高齢者に関わる事業と連携・協働活動に取り組んだ。

○高齢者に関わる制度・政策への対応

団体名	名称	区分
中国地方整備局	広島県バリアフリー等連絡会議	構成員
広島県健康福祉局	広島県後期高齢者医療審査会	委員
	広島県介護保険審査会	委員
	広島県自殺対策連絡協議会	委員
	広島県社会福祉審議会	委員
	高齢者対策総合推進会議	委員

団 体 名	名 称	区 分
	広島県プラチナ世代支援協議会	監 事
	ひろしま健康づくり県民運動推進会議	構成員
	広島県医療費適正化計画検討委員会	委 員
	広島県福祉のまちづくり推進協議会	構成員
	広島県国民健康保険運営協議会	委 員
広島県環境県民局	広島県交通対策協議会	委 員
	広島県交通対策協議会幹事会	幹 事
	北方領土返還要求運動広島県民会議	構成員
広島県警察本部生活安全部	広島県暴走族・少年非行防止対策会議	委 員
	広島県暴走族・少年非行防止対策会議幹事会	幹 事
	広島県「減らそう犯罪」推進会議	委 員
	広島県「減らそう犯罪」推進会議幹事会	構成員
広島県後期高齢者医療広域連合	広島県後期高齢者医療広域連合運営審議会	委 員
(財)広島県地域保健医療推進機構	財団法人広島県地域保健医療推進機構理事会	理 事
	財団法人広島県地域保健医療推進機構評議員会	評議員
	明るい長寿社会づくり推進委員会	委 員
(社福)広島県社会福祉協議会	広島県被災者生活サポートボラネット推進会議	委 員
	社会福祉法に基づく運営適正化委員会の選考委員会	委 員
広島県選挙管理委員会	広島県明るい選挙推進協議会	構成員
(一財)広島県交通安全協会	(公財)広島県交通安全協会理事会	理 事
	広島県自転車安全教育推進委員会	委 員
その他	21世紀、県民の健康とくらしを考える会	構成員

○会議等への参加・出席状況(交通安全関係及び全老連関係を除く。)

月日	会議名等	場 所
4.19	21世紀県民の健康とくらしを考える会役員会	県医師会館
5.26	広島県シニア総合スポーツ大会総合開会式	びんご運動公園
6.5	広島県社会福祉協議会理事会	県社会福祉会館
6.18	ひろしま健康づくり県民運動推進会議総会	県健康福祉C
7.17	広島県介護労働懇談会	県立体育館
7.26	広島県医療費適正化計画検討委員会	県庁
7.30	広島県自殺対策連絡協議会	県庁
9.13	21世紀県民の健康とくらしを考える会役員会	県医師会館
9.18	広島県社会福祉協議会社会福祉制度・予算対策委員会	県社会福祉会館
10.18	ひろしま健康づくり県民運動推進会議担当者会議	健康福祉 C
10.31	尾道市高齢者福祉大会	尾道市
11.1	広島県自殺対策連絡協議会	県庁

月日	会議名等	場所
4.19	21世紀県民の健康とくらしを考える会役員会	県医師会館
11.12	広島県「減らそう犯罪」推進会議幹事会	県警本部
11.26	広島県暴走族・少年非行防止対策会議幹事会	県警本部
12.14	広島県社会福祉協議会理事会	県庁
31.1.19	21世紀県民の健康とくらしを考える県民フォーラム	広島県医師会館
1.24	広島県暴走族・少年非行防止対策会議	県警本部
2.1	広島県社会福祉審議会	県庁
2.4	北方領土返還要求運動広島県民大会	県民文化 C
2.14	広島県介護労働懇談会	県立体育館
2.25	広島県自殺対策連絡協議会	県庁
3.13	広島県医療費適正化計画検討委員会	県庁
3.14	広島県社会福祉協議会理事会	県社会福祉会館
3.19	ひろしま健康づくり県民運動推進会議	県健康福祉 C
3.19	広島県バリアフリー等連絡会議	県民文化センター
3.22	タクシー利用者懇談会	広島ガーデンパレス

(5) 高齢者の社会参加活動促進事業の後援

関係機関・団体の開催する高齢者の社会参加活動等を促進する事業について、次のとおり後援名義の使用を許可した。

開催月日	事業名等	主催団体
30.5.26	第29回広島県シニア総合スポーツ大会	広島県ほか
6.2	第37回家族の会大会・認知症を考える講演会	認知症のひと家族の会
10.31	第46回尾道市高齢者福祉大会	尾道市老連
11.22	ハッピードリームサーカス広島公演	テレビ新広島
11.23	第15回高齢者交通安全自転車大会	広島県交通安全協会
11.25	第29回広島県シニア囲碁大会	広島県社会福祉協議会
12.2	第29回広島県シニア将棋大会	広島県社会福祉協議会

IV 生活を豊かにする楽しい活動と地域を豊かにする社会活動を推進し、地域と福祉をささえる老人クラブをめざす事業(公4)

1 広島県、県社協、県老連三者連絡協議会の開催

県の主管部局と県社会福祉協議会との協働・連携を強化するため、三者連絡協議会を開催した。

年月日	会議の名称	人数	内容
31.1.10	広島県、県社協、県老連三者連絡協議会	15	<p><出席者></p> <p>広島県 5名:地域包括ケア推進部長、地域包括ケア・高齢者支援課長、県警交通企画課課長補佐ほか2名</p> <p>県社協 3名:常務理事(兼)事務局長、事業部長、地域福祉課長</p> <p>県老連 7名:理事長、副理事長4名、事務局長ほか1名</p> <p><協議事項></p> <p>広島県</p> <p>① 住民運営の通いの場の設置協力について</p> <p>② 低栄養予防についての啓発協力について</p> <p>③ 介護予防・日常生活支援総合事業について</p> <p>④ 高齢者が関係する死亡事故について</p> <p>広島県社会福祉協議会</p> <p>・社協型活動総合推進事業について</p> <p>広島県老人クラブ連合会</p> <p>① 広島県における老人クラブの現状について</p> <p>② 地域包括ケアシステムの推進について</p> <p>③ 老人クラブ補助金の今後について</p>

2 市町老連との協働活動の推進

老人クラブが地域でパワーを発揮するためには、単位クラブ及び市町老連並びに県老連が組織全体で協働活動を推進していく必要がある。このため「市町老連会長会議」及び「市町老連事務局長会議」を開催した。

年月日	会議の名称	人数	内容
30.4.10	市町老連事務局長会議(第1回)	22	<p>1 県老連専用スマートフォン整備事業について</p> <p>2 平成30年度県老連事業計画について</p> <p>3 100万人会員増強運動について</p> <p>4 平成30年度全老連事業について</p> <p>5 その他</p>

12.13	市町老連会長会議	<ul style="list-style-type: none"> 1 平成30年度県老連事業実施状況(中間報告)について 2 平成30年7月豪雨災害救援拠金配分方針案について 3 平成31年度県老連事業について 4 その他
31.2.19	市町老連事務局長会議(第2回)	<ul style="list-style-type: none"> 1 平成30年度県老連事業について 2 平成31年度県老連事業計画及び予算(案)について 3 全老連セミナー・大会・表彰等について 4 その他

(開催場所:市町老連会長会議はメルパルク広島、他は広島県社会福祉会館)

3 県老連各種委員会及び研修会の開催

老人クラブ活動推進のため、女性委員会、若手委員会、活動指導研修委員会及び、役員・リーダーの資質向上を図るための研修会を次のとおり開催した。

年月日	委員会等の名称	人数	内 容
30.5.15	広報誌編集委員会	6	広報誌「ひろしま県老連第95号」の編集について
6.21	若手委員会総会・研修会	25	<ul style="list-style-type: none"> 1 平成29年度県老連若手委員会関係事業報告について 2 平成30年度県老連事業計画について 3 若手委員会規約改正について 4 グループ討議
6.28	女性委員会総会・研修会	20	<ul style="list-style-type: none"> 1 平成29年度県老連女性委員会関係事業報告について 2 平成30年度県老連事業計画について 3 高齢者詐欺被害防止について 4 グループ討議
8.28	広報誌編集委員会	2	広報誌「ひろしま県老連第95号」の掲載記事、投稿作品について
11.13	広報誌編集委員会	6	広報誌「ひろしま県老連第96号」の編集について
31.1.24	女性リーダー研修会	29	高齢消費者被害防止・特殊詐欺被害防止について
1.31	広報誌編集委員会	6	広報誌「ひろしま県老連第96号」の掲載記事、投稿作品について

(開催場所:市町老連事務局長等研修会を除き広島県社会福祉会館)

4 全老連が主催する会議・研修会等への参加

老人クラブ活動の充実強化を図るため、全老連主催の会議・研修・セミナー等に積極的に参加した。

開催日	会議名・研修名	場所
30.5.10～11	中国ブロック県・指定都市老連連絡協議会(6名参加)	島根県
5.15	都道府県・指定都市老連女性代表者会議(川口副理事長出席)	東京都
7.2～3	第1回都道府県・指定都市老連事務局長会議(事務局長出席)	東京都
6.19	全老連評議員会(理事長、川口副理事長出席)	東京都
8.7～8	第36回都道府県・指定都市老人クラブ中央セミナー(2名参加)	東京都
8.21	第43回活動推進担当者研究セミナー(活動推進員参加)	東京都
10.11～12	第30回老人クラブ女性リーダーセミナー(2名参加)	東京都
10.22～23	中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会(52名参加)	鳥取県
12.4～5	第47回全国老人クラブ大会(21名参加)	沖縄県
31.1.30-31	第24回在宅福祉を支える友愛活動セミナー(4名参加)	東京都
2.4-5	都道府県・指定都市老連会長・事務局長合同会議	東京都
2.20～22	第16期健康づくり中央セミナー(2名参加)	神奈川県
3.12	全老連評議員会	東京都

5 全老連会長表彰の受賞

全国老人クラブ連合会では、都道府県・指定都市老連からの推薦に基づき、多年にわたる老人クラブの育成功労者、顕著な活動実績を上げている優良老人クラブ及び優良老人クラブ連合会等の表彰を実施している。広島県から平成30年度は次の個人・団体が受賞した。

- ・育成功労者 : 川島義之(呉市)、小川好人(福山市)
- ・優良老人クラブ連合会 : 大竹市老連、熊野町白寿会(福山市)

6 全老連「活動賞」の受賞

全国老人クラブ連合会では、都道府県・指定都市老連からの推薦に基づき、優良事例を掘り起こすとともに活動の意欲を高め、老人クラブ活動の一層の発展を目指し、「活動賞」表彰を実施している。広島県から平成30年度は次の団体が受賞した。

- ・東寿クラブ(竹原市)

7 全老連「100万人会員増強運動特別賞」の受賞

全国老人クラブ連合会では、100万人会員増強運動の一層の推進を図るため、平成27年度から、会員増強計画の目標を達成した単位老人クラブ及び市町・地区老連を対象に「100万人会員増強運動特別賞」を実施している。広島県から平成30年度は次の団体が受賞した。

- ・郷原3・4区笑顔クラブ(呉市)

8 広島県知事表彰の受賞

10月24日の平成30年度広島県社会福祉大会において、次の個人及び団体が受賞した。

- ・老人クラブ育成指導功労者 栗原信明(東広島市)
- ・優良老人クラブ 伊勢丘学区老人クラブみどり会(新緑会)(福山市)

9 ニッセイ財団「生き生きシニア活動顕彰」に受賞

県を通じて公募された「2018年度ニッセイ財団生き生きシニア活動顕彰」に、県老連から推薦した単位クラブや地区老連の活動が評価され、次の5団体が受賞し助成金(各5万円)を交付された。

三次市老連八次支部共楽会、庄原市老連明神町明寿会、東広島市豊栄支部能良福寿会、廿日市市老連宮園会連合会、安芸郡熊野町団地西長寿会

10 ホームページ活用による啓発広報

ホームページを活用して、老人クラブの活動状況や県や市町老連広報紙さらには関係団体の啓発資料等を掲載するとともに、公益財団法人として必要な法人関係情報について開示するなど、積極的な情報発信に努めた。

《その他の事業》

V 老人クラブの組織強化を図る事業(他1)

1 老人クラブ普及事業

(1) 老人クラブ「100万人会員増強運動」事業

平成26年度から全老連は平成30年度を目標に5か年間で100万人会員増強の運動を開始した。これに呼応して、本県においても、5年間で18,699人増強を図る計画を策定し、市町老連にも県計画を基に、それぞれの目標設定を呼びかけた。

その結果、10市4町老連において、5年間で9,747人の増強を図る計画が策定された。また、計画未策定の市町老連においても、県老連設定の目標に基づいて会員増強運動に取り組まれており、全県的な取組み結果については、各次年度当初に取りまとめて全老連へ報告する。

(2) 老人クラブ数等の状況

平成30年度(平成30年3月31日現在)の老人クラブ数は前年比で64クラブ、会員数5,330人減少した。減少率は若干減じたが、依然として減少傾向が続いており、老人クラブの解散防止が喫緊の課題となっている。

年度	クラブ数	会員数(人)	加入率(%)
20	2,467	146,249	27.3
21	2,415	142,309	25.0
22	2,347	136,247	23.4
23	2,277	131,325	22.1
24	2,214	127,043	21.0
25	2,161	121,544	20.0
26	2,106	114,971	18.8
27	2,069	110,592	18.1
28	1,998	105,334	17.1
29	1,955	100,875	16.4
30	1,891	95,545	15.8

(注)加入率:老人クラブ会員数/60歳以上の人口

(3) 活動資料、研修教材の普及事業

老人クラブ活動を効果的に推進するため、月刊「全老連」、「老人クラブリーダー必携」、「老人クラブ活動日誌」、「老人クラブ会計簿」、「老人クラブ手帳」等の普及を図った。

2 100万人会員増強運動推進特別報奨金事業の実施

「100万人会員増強運動」の一層の推進を図るため、会員増加の実績を上げた単位老人クラブ及び新設・復活クラブに特別報奨金を贈呈した。

- (1) 会員増加クラブ(5人以上) @5,000円 13市町老連 95クラブ
- (2) 新設・復活クラブ @20,000円 6市町老連 9クラブ

3 会員の安全対策と連帯意識の高揚を図る事業

(1) 「老人クラブ傷害保険」の組織的普及

活動中や会員の日常生活の事故に備えた「老人クラブ傷害保険」の組織的な普及と安全対策を図った。また、創設された「老人クラブ賠償責任保険」について加入案内を行った。なお、29年度加入者数は215クラブで4,171人となった。

(2) 全国の会員をつなぐ仲間のシンボル「老人クラブ会員章」の普及

会員の連帯意識を高め、仲間のしるしである会員章の普及を通じて活動強化を図った。

4 表彰事業

多年にわたり老人クラブの育成指導に貢献し、老人福祉の増進に寄与した人に対して、広島県老人クラブ大会の場において、理事長表彰等を行った。(再掲)

・県老連理事長表彰、感謝状の贈呈

5 要望活動

県の厳しい財政状況が予想されるなかで、老人クラブの一層の振興を図るため、総合的な予算確保・社会福祉制度の要求をしていく必要がある。

このため、老人クラブ活性化に向けて、県による広報や市町行政への老人クラブ活用の助言などについて、平成31年度の予算編成に向けた重点要望を取りまとめ、社会福祉関係18団体とともに、広島県議会(要望日:10月12日)、県健康福祉局長及び関係部課長に要望した。(要望日:10月2日)

6 県老連専用スマートフォンの整備

県老連が一括契約購入した専用スマートフォンを市町老連に貸し出し、テザリング機能等の活用により、市町老連事務局の連絡体制及び電子メールやインターネットの利用などICT環境の整備を支援し、情報通信機能の強化を図った。

この結果、県老連専用スマートフォンを17市町老連に貸与し、既存のネット環境の活用を含めて、すべての市町老連と電子メールでの連絡が可能となり、クラウド上での県老連文書ファイルの閲覧・利用が可能となった。

《法人の管理運営》

VI 法人の管理運営(法人会計)

1 役員会等の開催

会務の適切な運営と推進を図るため、次のとおり役員会等を開催した。

月日	会議名	人数	主な内容
30.5.9	監事会	3	平成29年度事業実施状況並びに収支決算について
5.22	第1回運営委員会	12	1 平成29年度事業報告について 2 平成29年度収支決算について 3 定款の一部改正について 4 第19回理事会の開催について 5 平成30年度定時評議員会の開催について 6 役員及び評議員の補充選任について
5.29	第19回理事会	19	1 平成29年度事業報告について 2 平成29年度収支決算について 3 定款の一部改正について 4 役員及び評議員の補充選任について 5 平成30年度定時評議員会の議題等について
6.14	平成30年度定時評議員会	21	1 平成29年度事業実施状況について 2 平成29年度収支決算について 3 定款の一部改正について 4 役員及び評議員の補充選任について
31.2.26	第2回運営委員会		1 平成30年度収支予算執行見込みについて 2 平成31年度事業計画及び収支予算について 3 平成31年度行事計画について 4 第20回理事会の開催について
3.14	第20回理事会		1 2019年度事業計画について 2 2019年度収支予算について

(開催場所: 広島県社会福祉会館)

2 老人クラブ等活動推進員の設置

「老人クラブ等活動推進員設置事業運営要綱」に基づき、県老連事務局職員2名を「老人クラブ等活動推進員」として任用し、高齢者の社会参加に係る企画立案、調査研究、市町村老人クラブの育成等の事業を実施した。

3 資料作成配布

月日	名称	部数	備考
30.5.30	平成30年度高齢者相互支援事業研修会資料 付平成29年度高齢者相互支援事業事例集	600	A4、54頁
10.26	第35回広島県老人クラブゲートボール大会資料	300	A4、19頁
31.3.29	会員勧誘チラシ「老人クラブに入ってみんさい きっと楽しいけん」	20,000	A4、三つ折り